

市民アンケートの分析

資料 5-2

アンケートの概要

1 目的

第4次地域福祉計画の策定に先立ち、市民の方に、地域福祉について、日常生活の現状や意識、福祉サービスや地域づくりに関する意見などをお聞きし、計画策定の基礎資料とするために実施した。

2 対象

福知山市在住の18歳以上の人から、年代別に合計2,000人を無作為抽出

3 期間

2022（令和4）年8月25日から2022（令和4）年9月15日まで

4 方法

郵送による配布・回収 / ウェブによる回答

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
2,000 通	971 通（うち、ウェブ回答 164 通）	48.6%

【年代別】

	旧市内	三和	夜久野	大江	配布数	有効回答数	有効回答率
18・19 歳	70	3	3	4	80 通	16 通	20.0%
20 歳代	200	9	9	12	230 通	45 通	19.6%
30 歳代	227	10	10	13	260 通	88 通	33.8%
40 歳代	277	13	29	1	320 通	133 通	41.6%
50 歳代	243	11	11	15	280 通	136 通	48.6%
60 歳代	251	12	12	15	290 通	190 通	65.5%
70 歳以上	469	22	21	28	540 通	363 通	67.2%
総合計	1,737	80	95	88	2,000 通	971 通	48.6%

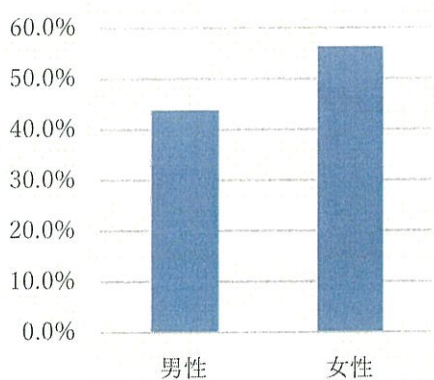
分析

F7 心配ごとや困りごとがあると回答した 472 人のうち、

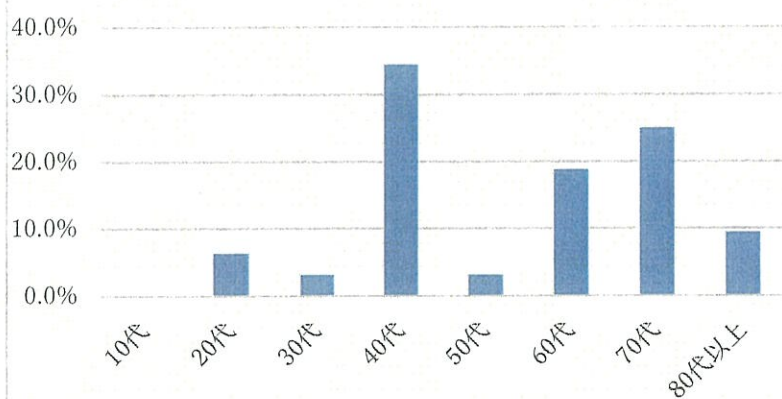
F8-2 抱えておられる生活上の心配ごとや困りごとは、誰に（どこに）相談していますか。（〇は3まで）

→「11. 誰にも相談しない」「12. 相談できる人や場所はない」のみを選択した 32 人について

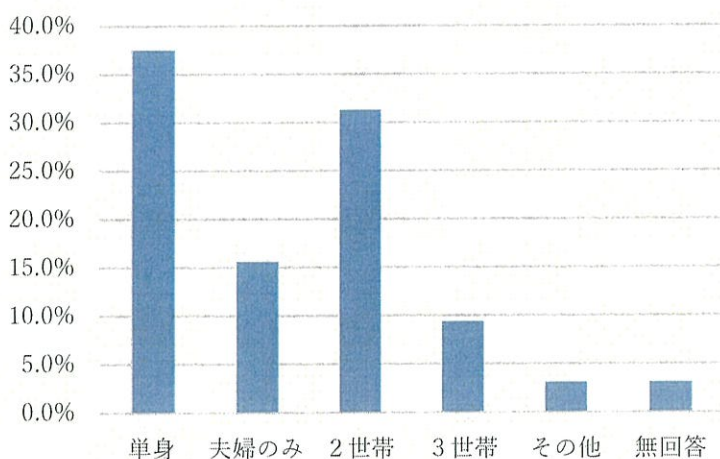
F1 性別



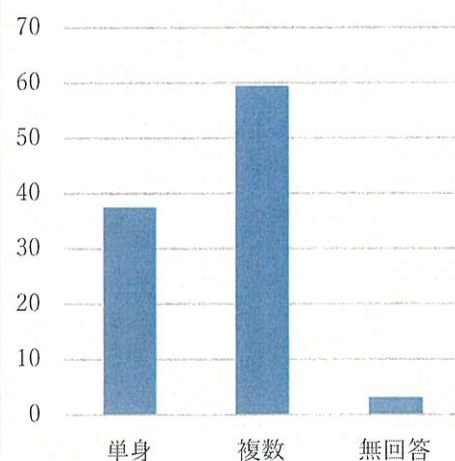
F2 年齢

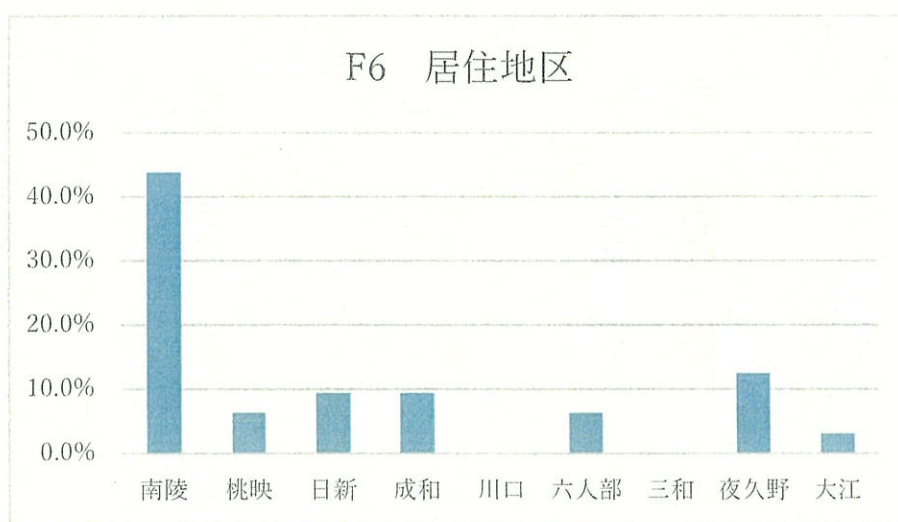
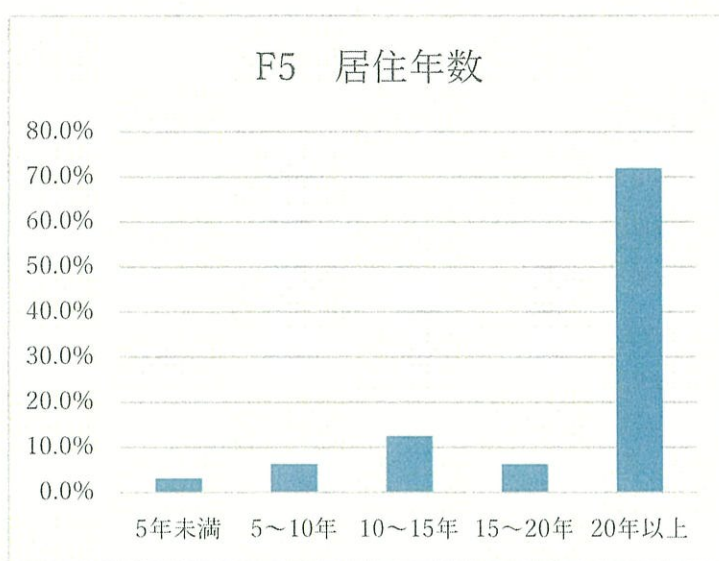
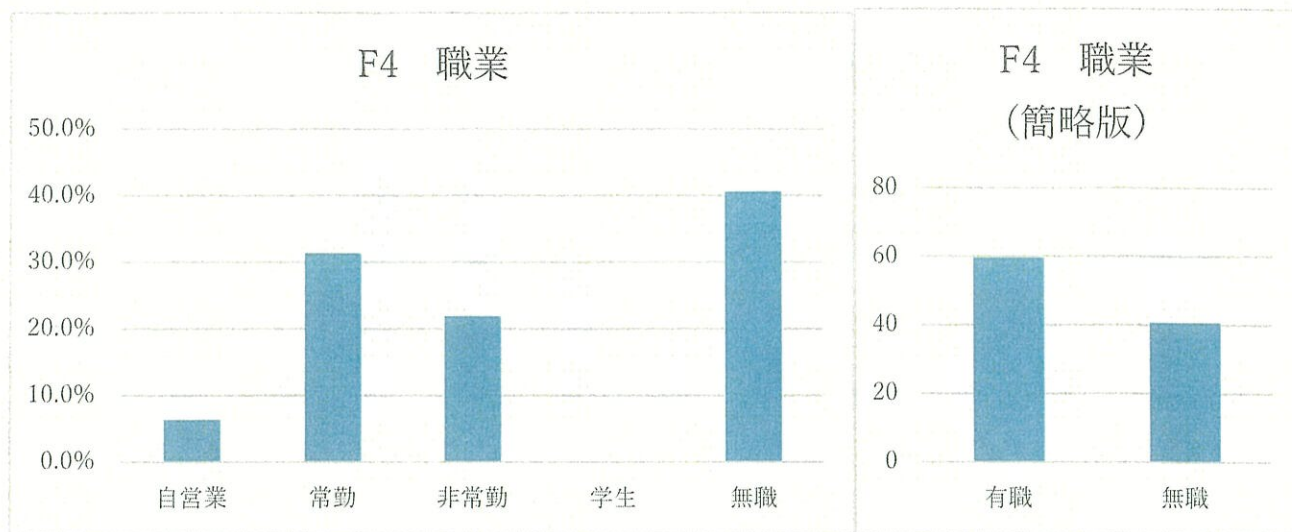


F3 世帯構成

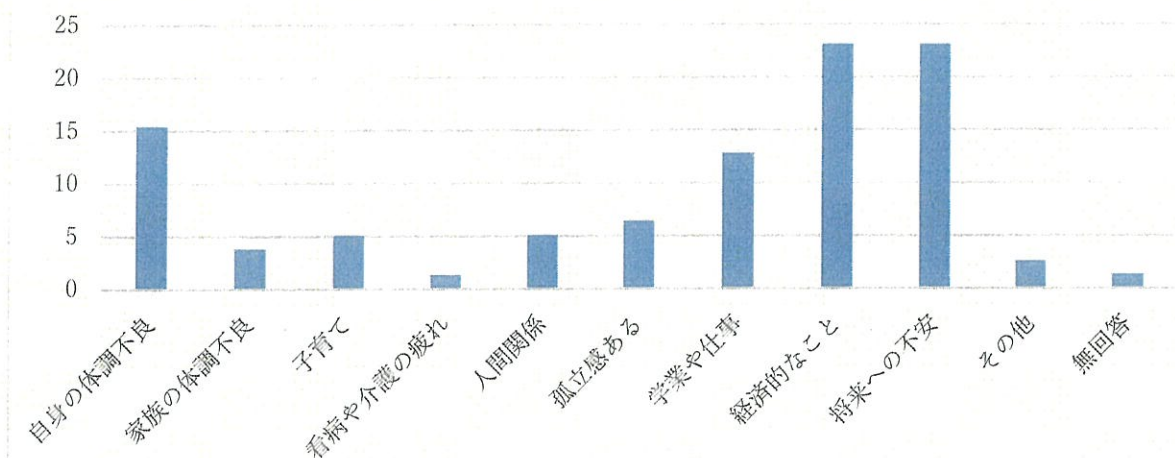


F3 世帯構成(簡略版)

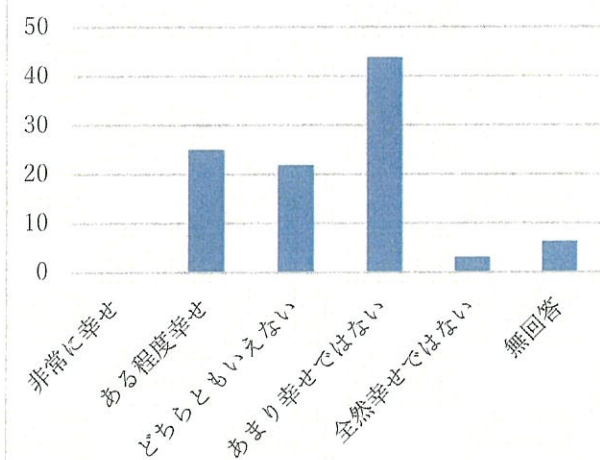




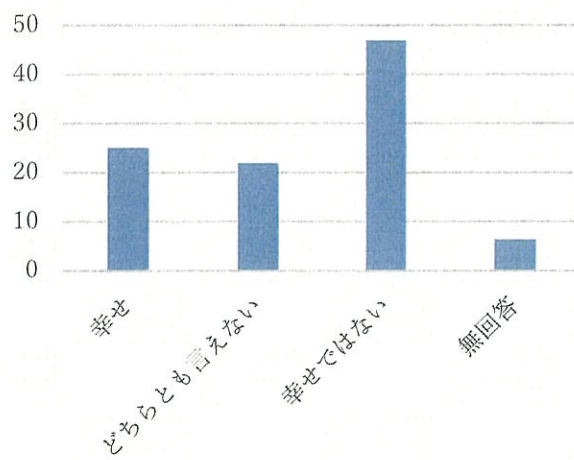
F8 心配ごとや困りごとの内容



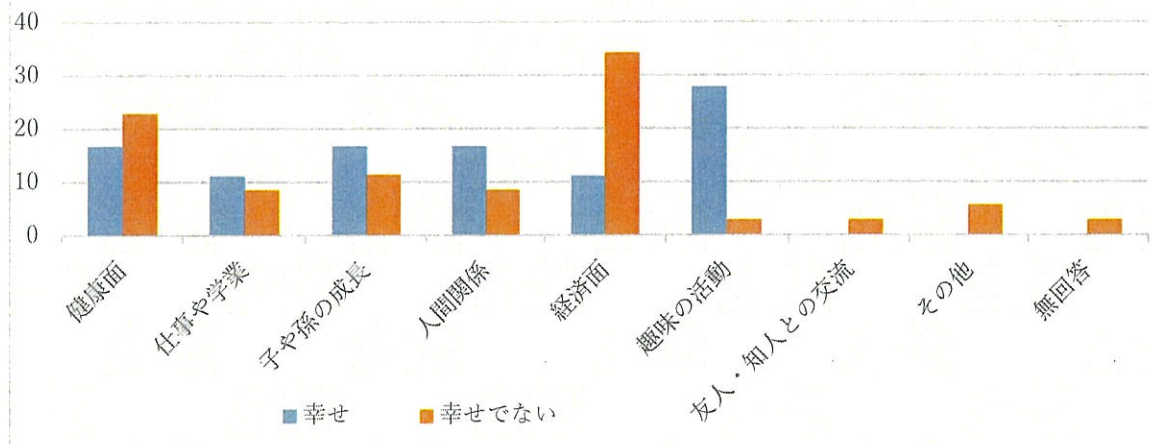
F9 幸せの程度



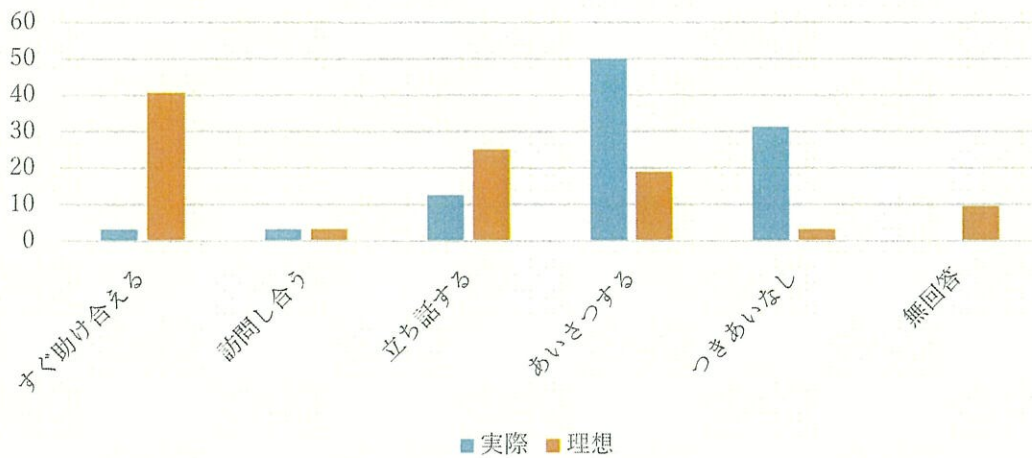
F9 幸せの程度(簡略版)



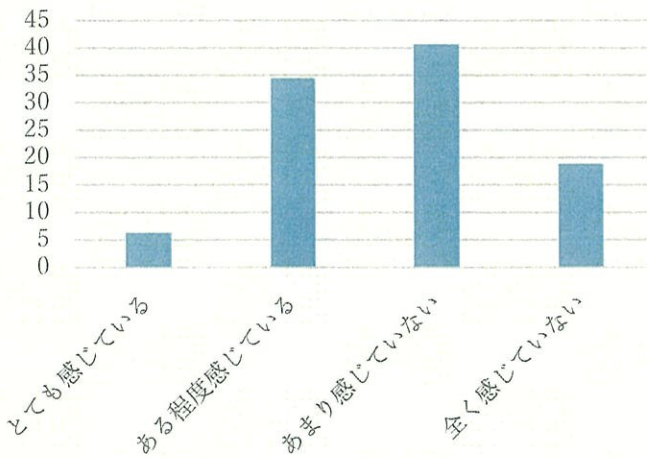
問10 (不)幸せの理由



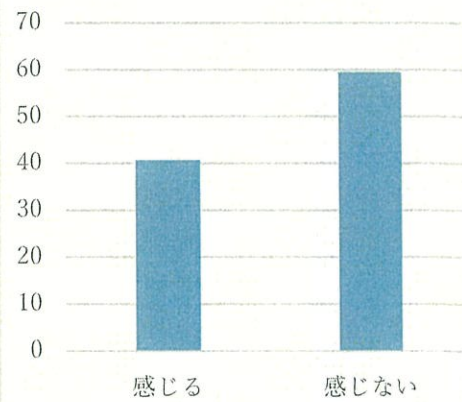
問1・2 隣近所とのつきあいの程度



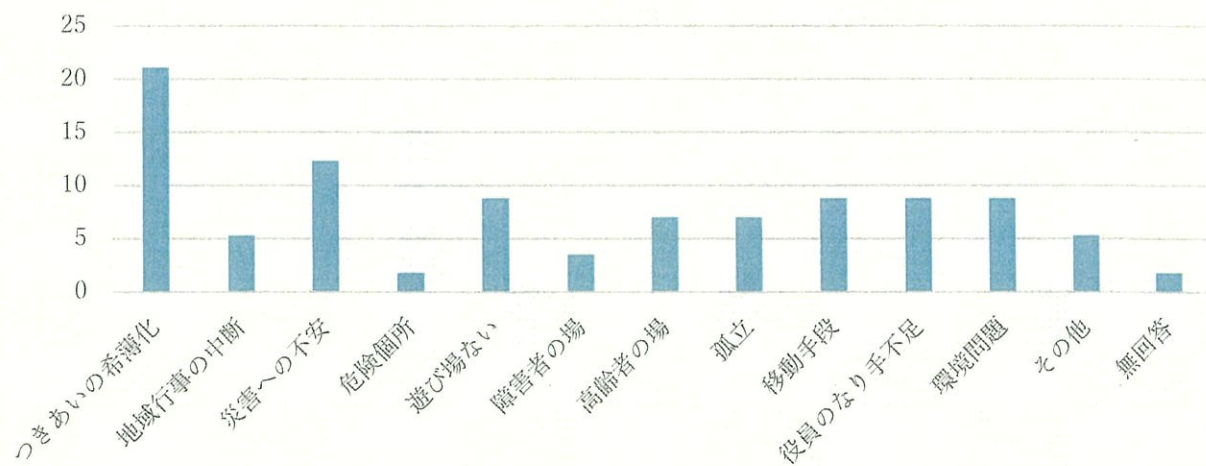
問3 居住地域への愛着・誇り

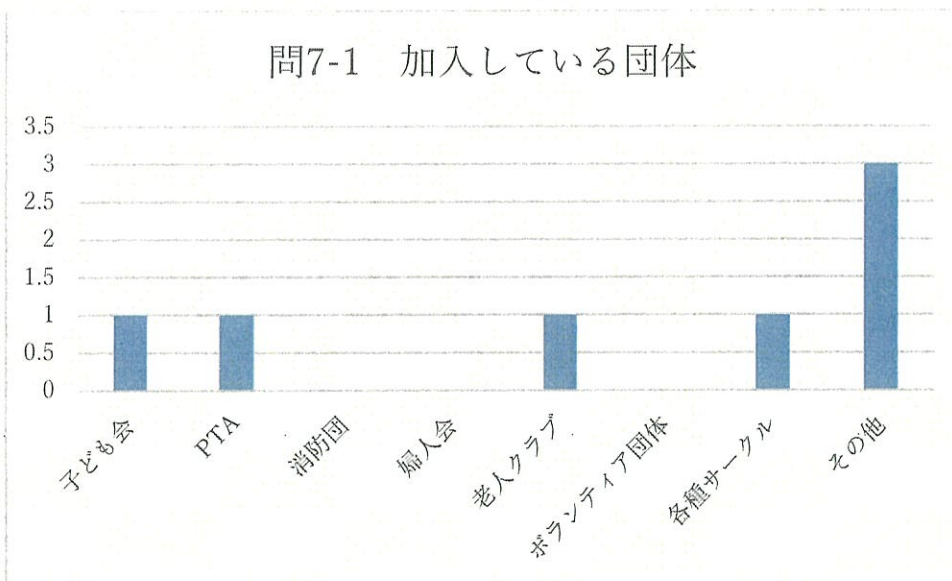
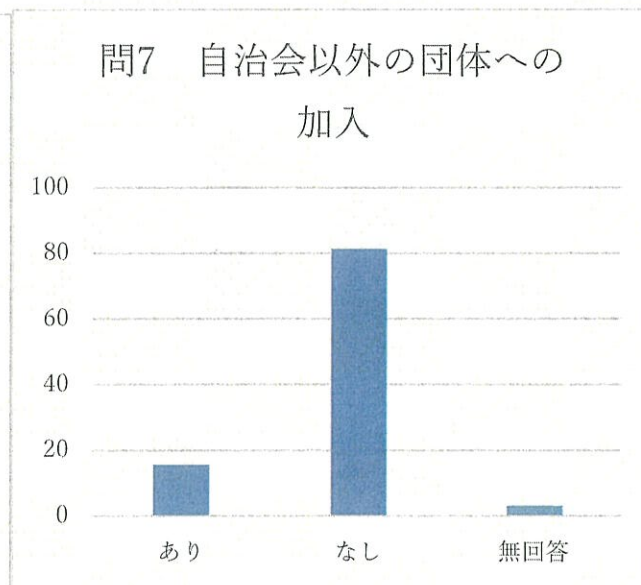
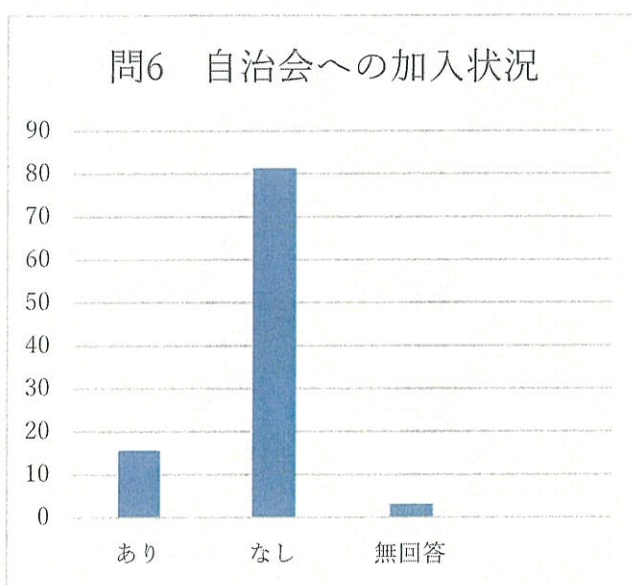
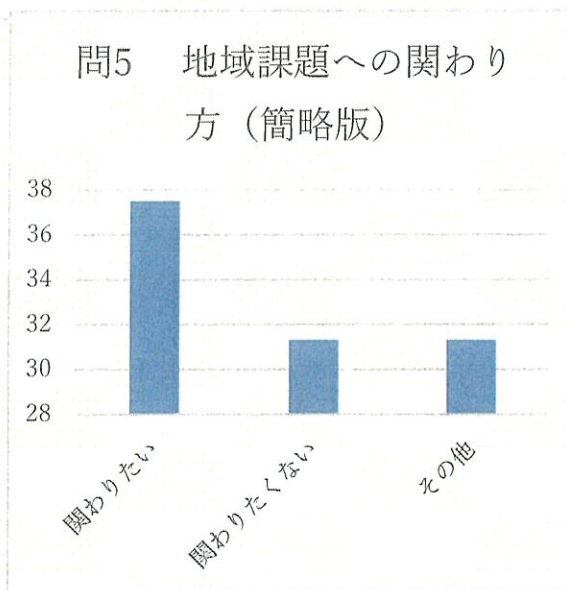
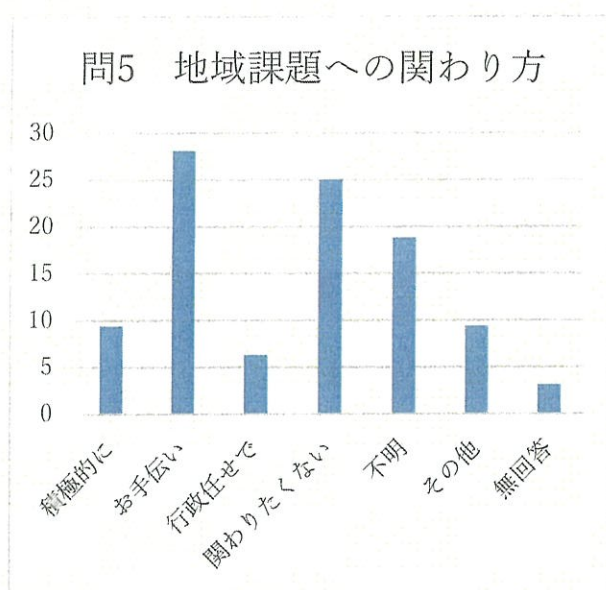


問3 居住地域への愛着・誇り (簡略版)

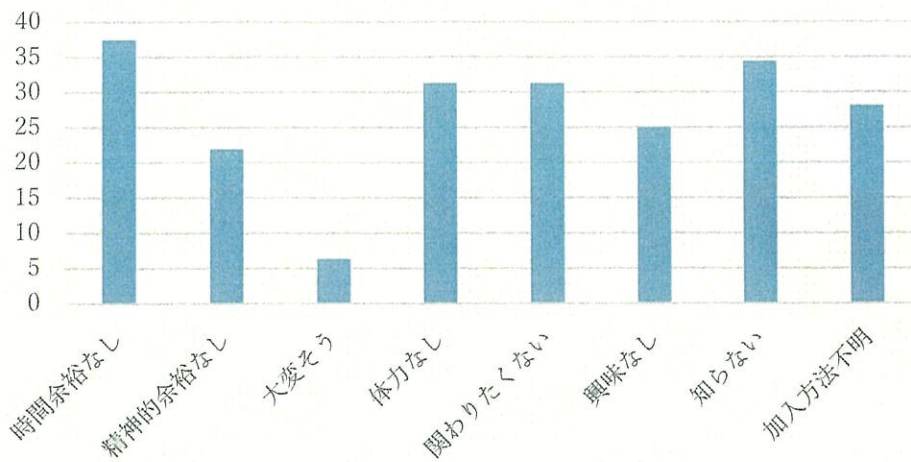


問4 居住地域の課題

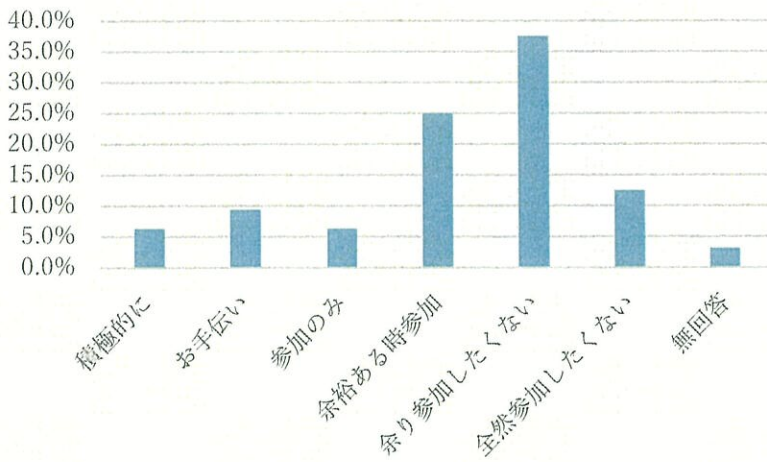




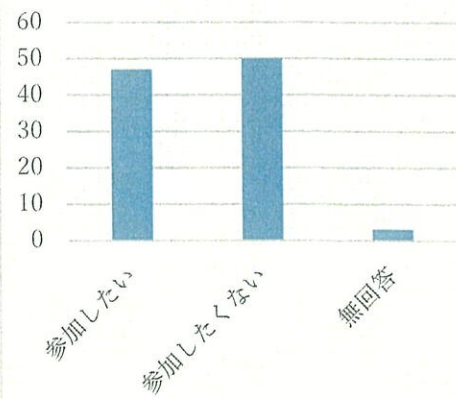
問7-2 加入していない理由



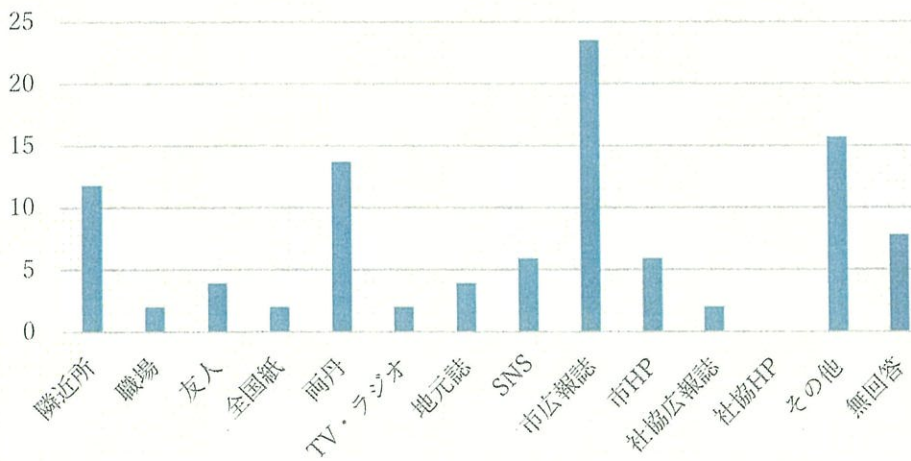
問8 地域行事等への参加意向



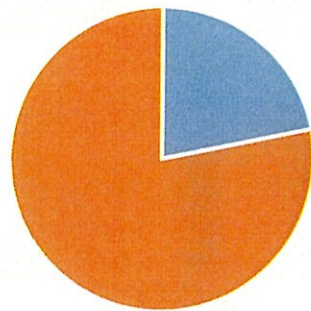
問8 地域行事等への参加意向（簡略版）



問11 福祉情報の入手先

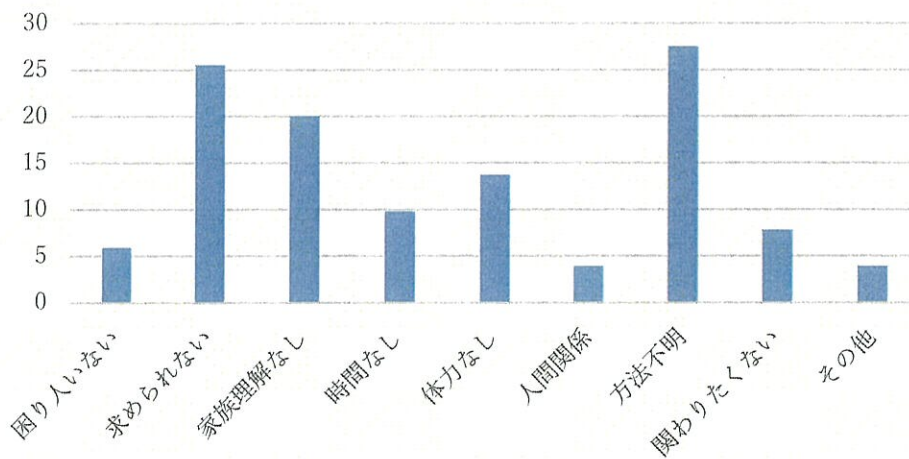


問12 助け合いの経験

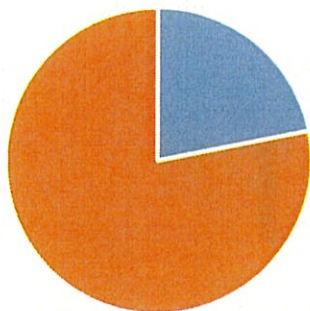


■あり ■なし

問12-1 助け合い経験ない理由

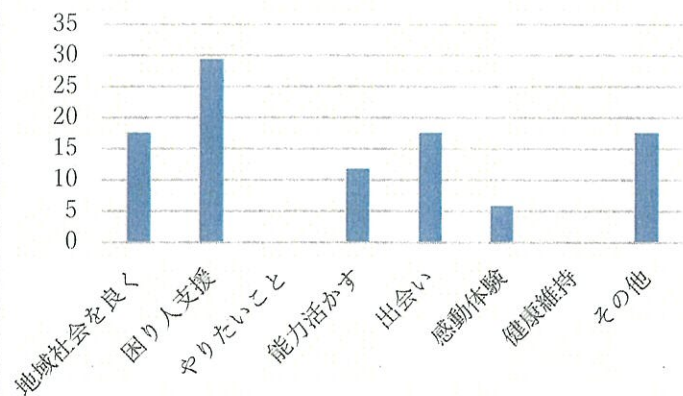


問13 ボランティア活動
の経験

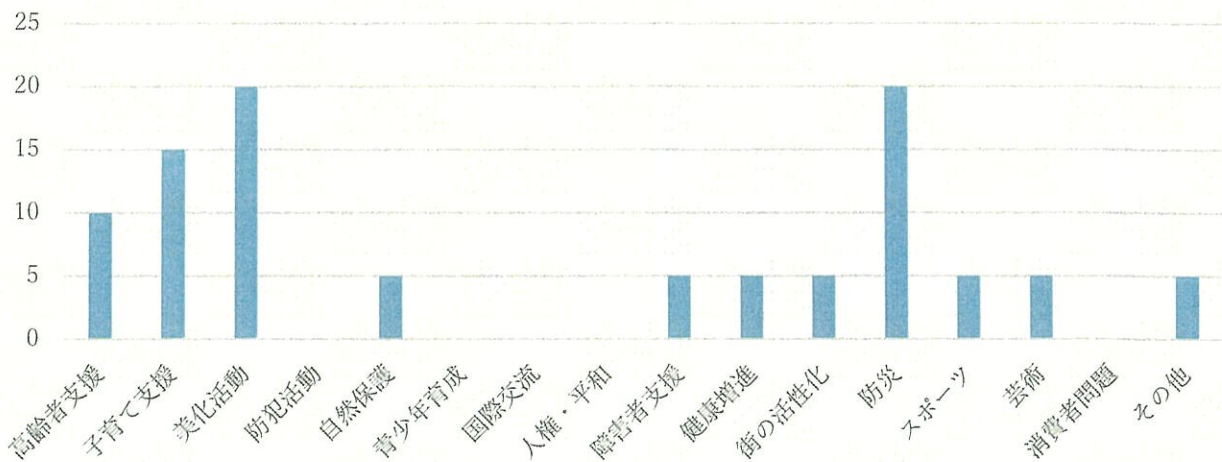


■あり ■なし

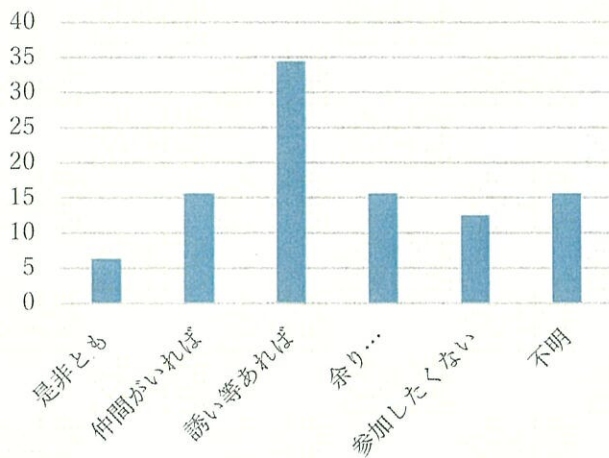
問13-1 ボランティア活動した
動機



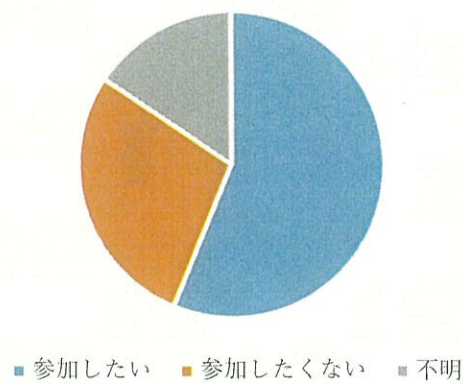
問13-2 経験した活動の内容



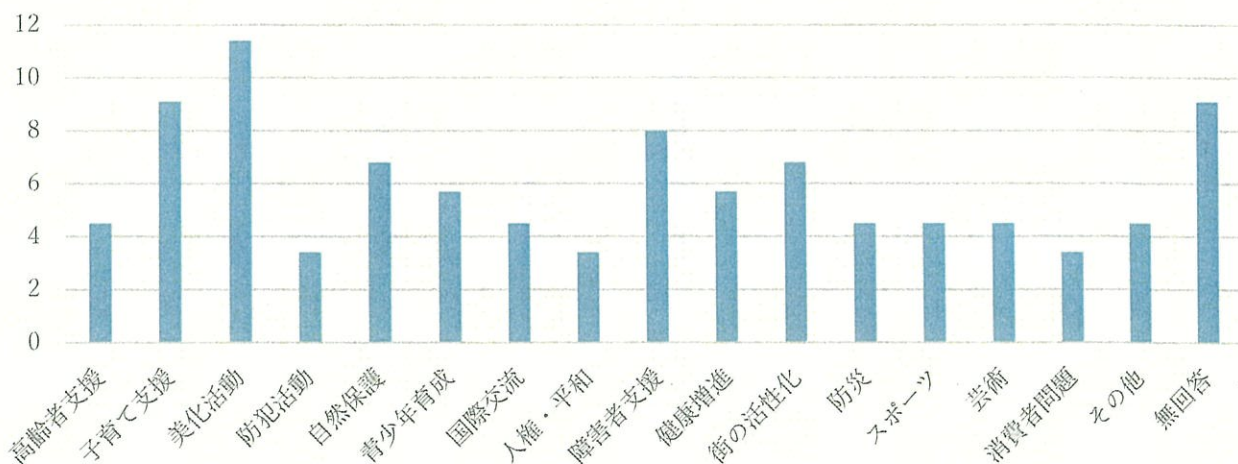
問14 ボランティアへの意欲



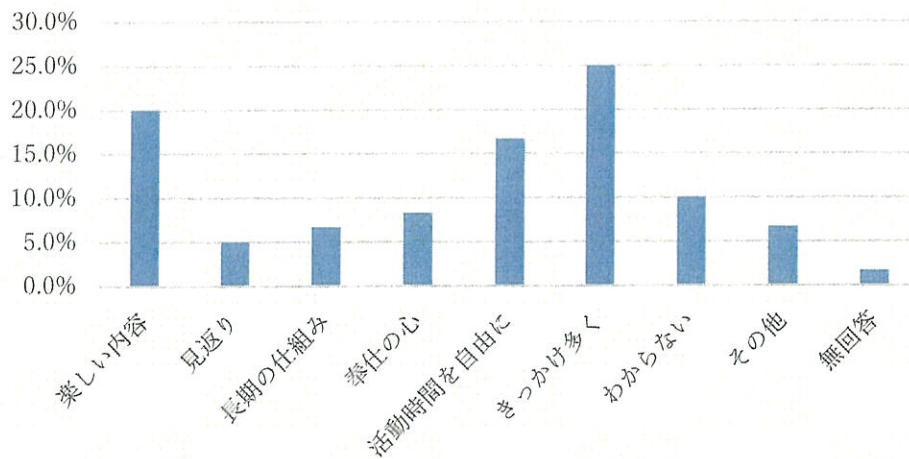
問14 ボランティアへの意欲
(簡略版)



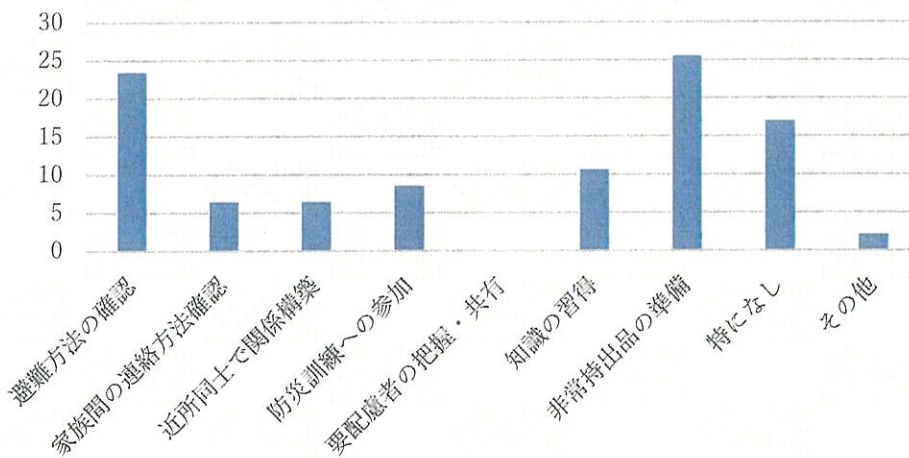
問15 参加したい活動の内容



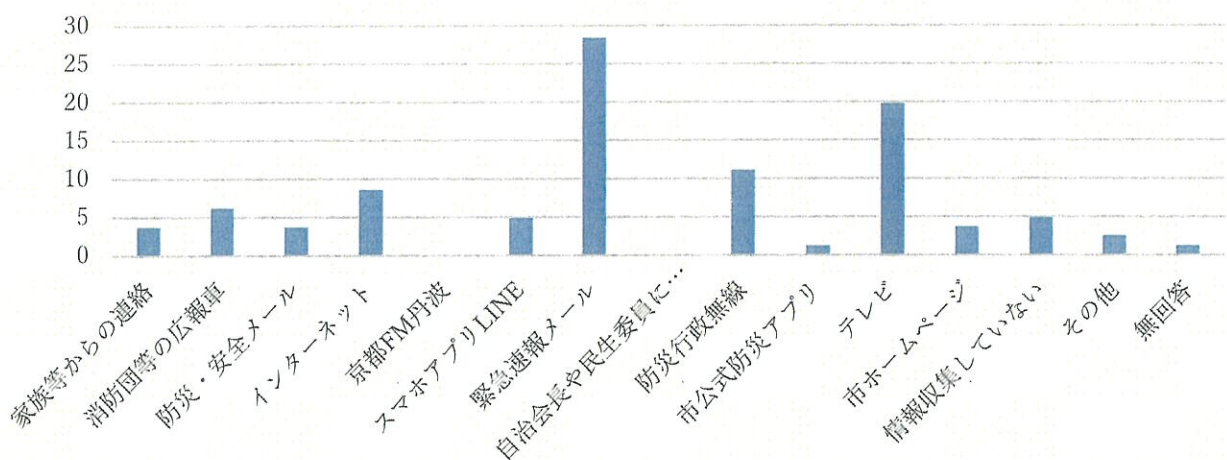
問16 活動参加に必要なこと



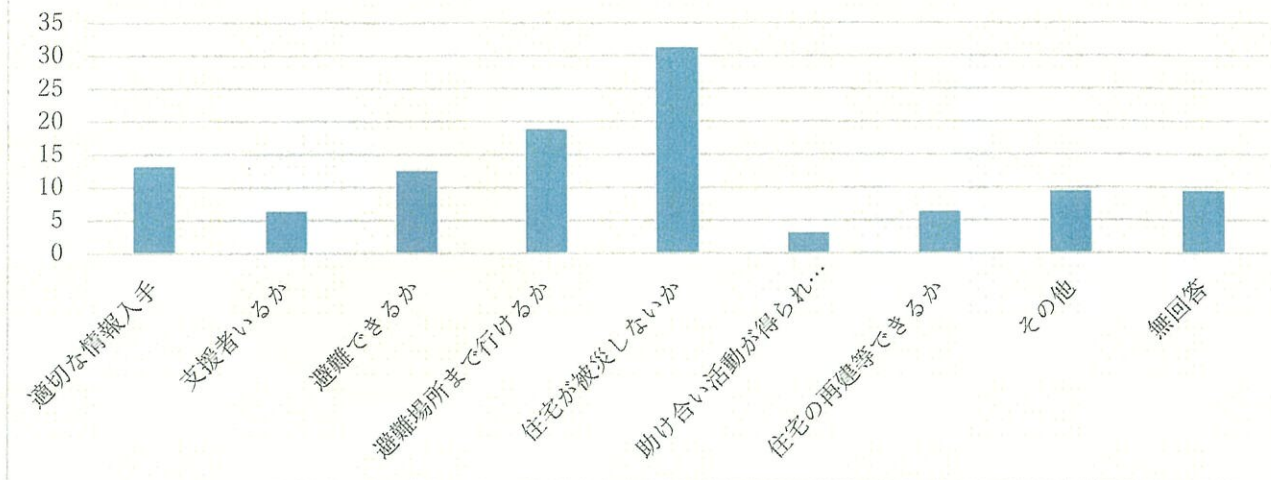
問20 災害への備えとして実施していること



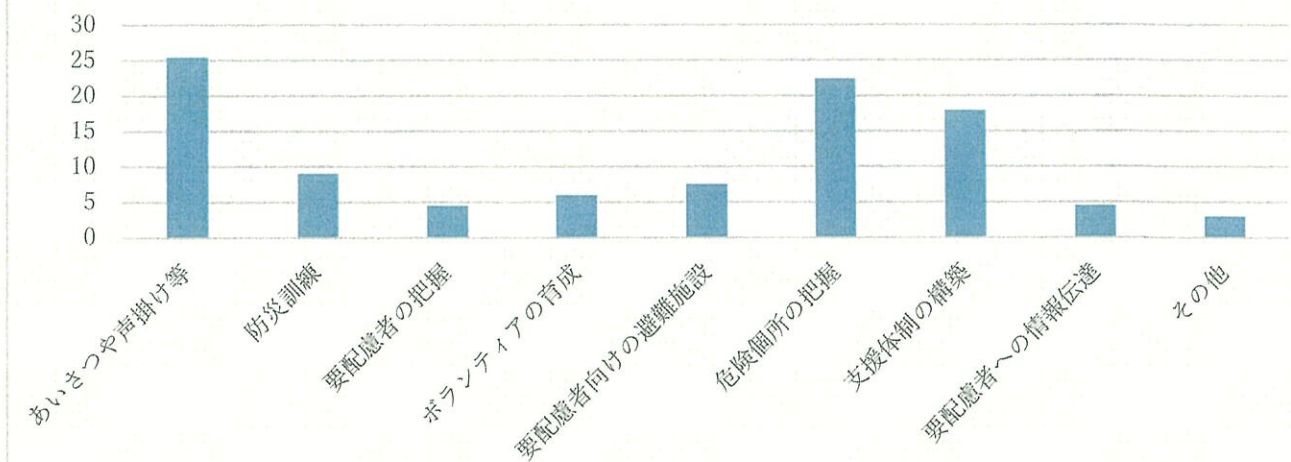
問21 避難情報の入手先



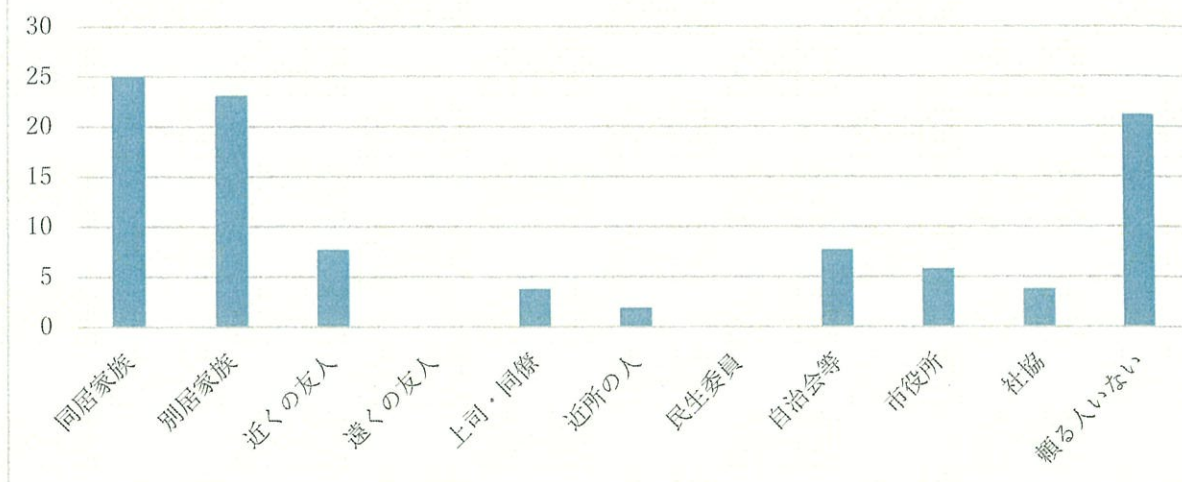
問22 災害時の不安



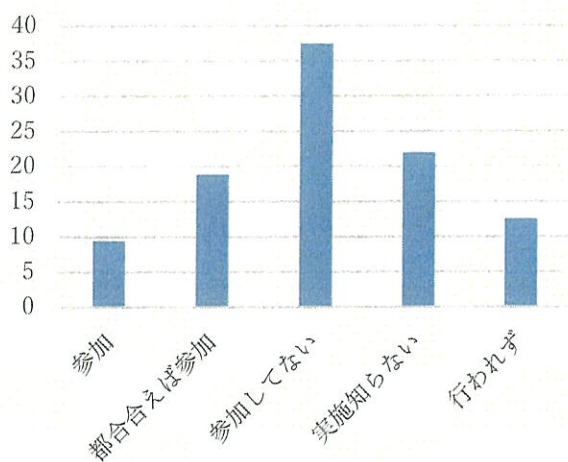
問23 災害への備えで重要なこと



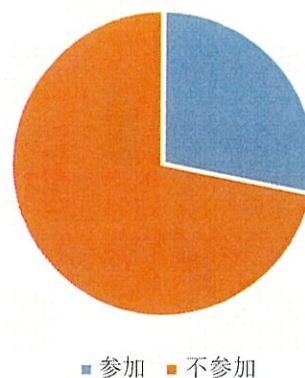
問24 災害時に頼るところ



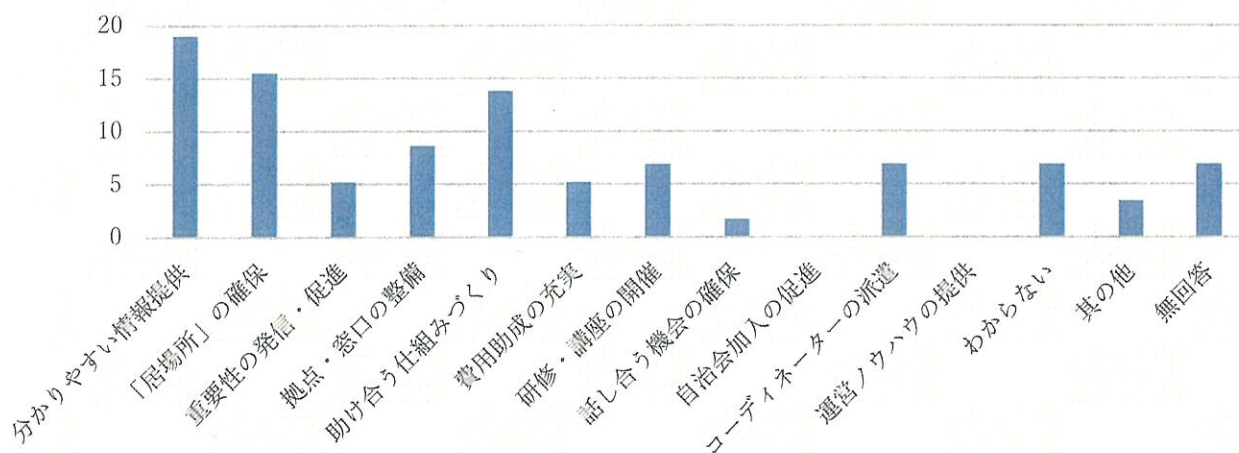
問25 防災訓練への参加



問25 防災訓練への参加
(簡略版)

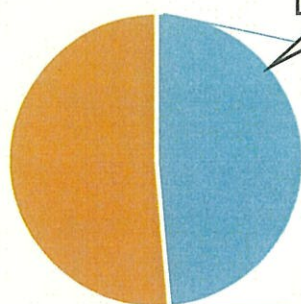


問27 市が注力すべきこと



○ まとめ ○

アンケート回答 971 人

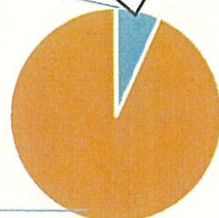


■ 困りごとあり ■ なし

472 人

「誰にも相談できない」

32 人



■ 相談しない・できる人ない

■ 相談する人あり

☆ メモ

32 人 / 971 人

→ 3.3%

63,578 人の 3.3% は
(1 月末の 18 歳以上人口)
2,098 人

○ 属性

- ・女性 5 割強
- ・40 代 3 割
- ・単身者 4 割、2人以上世帯 6 割
- ・無職者 4 割、有職者 6 割

- ・同居家族がいても相談者ない
- ・就労している人の方が相談者ない

○ 思い

- ・幸せである 2 割強、その理由は、趣味の活動が多い
- ・幸せでない 5 割弱、その理由は、経済面 3 割、健康面 2 割
- ・居住地域への愛着・誇りない 6 割
- ・地域課題(つきあいの希薄化・災害不安)に関わりたい

- ・幸せを感じている人には趣味がある
- ・地域への愛着ないものの、(程度に差はあるが)地域課題に関わりたい人が多い

○ 周囲との関係

- ・近所の人とはあいさつする程度 5 割、つきあいなし 3 割
- ・すぐ助け合える関係が理想と考えている人が多い
- ・自治会加入なし 8 割
- ・地域行事に 参加したい、参加したくない は半々

- ・隣近所との交流を深めたいと考えている人が多い

○ 活動経験や意欲

- ・助け合いの経験なし 7 割強・・・「求められない」、「方法が不明」
- ・ボランティア活動経験・・・美化作業、防災が多い
- ・意欲 あり 6 割・・・「誘いがあれば」

- ・誘いかけ等のきっかけがあれば、新たな参加が期待できるのではないか

○ 参加したい活動

- ・楽しい内容、活動時間が自由
- ・「美化作業」、「子育て支援」、「障害者支援」が多い

- ・楽しくて時間拘束されない
美化作業が入口になりそう

